

輪ちゃん(生活支援コーディネーター)とは
地域主体の助け合い・支え合い活動が出来るような「地域づくり」の輪をつなぐために活動しています。

🔊 9月は世界アルツハイマー月間でした。



美郷ホールで
展示しました。

皆さん認知症の最大の原因を知っていますか？

答えは「老化」です。長寿が進んだ今、誰もが認知症になり得る時代を迎えています。認知症になっても自分らしい暮らしを続けていくためにどうするべきか、自分ごととして考えることが大切です。

もの忘れが出て「心」はこれまでと同じです。

「認知症という言葉はグサッとくるもんね。もっとかわいいいニックネームがあればいいのに。」

「あんたどうせ認知症やろうもんって言われるのが一番つらいよ。」

（町内在住の女性のこぼれ話）



怖がり恐れるのは、認知症は何も分からなくなるという思い込みです。認知症に対する正しい理解が進むほど、安心して暮らせる大町になっていきますよ。



国際アルツハイマー病協会は、9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しています。また、日本では「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されたことにより、2024年から毎年9月が「認知症月間」、9月21日が「認知症の日」と定められました。

認知症に関するご相談、認知症についての理解を深める認知症サポーター養成講座
のご依頼は輪ちゃん（溝口…認知症地域支援推進員を兼務）へ



🔊 健康長寿の秘訣は“つながること”

つながりの大切さが分かる
輪ちゃん **オススメ** の一冊

高齢独居世帯や高齢夫婦世帯などが増加する中、高齢者への見守り活動や孤立防止への取り組みがより一層大切になっています。警察庁の統計では自宅での孤立死（令和6年度）は以下のようになっています。

（死後8日以上…21,856人 死後4日以上…31,843人）

地域内でのつながりの濃淡が、孤立死を防ぐだけでなく、健康寿命を延ばすことが分かってきました。町としても様々な取り組みを行っていますので一例をご紹介しますね。



「友だちの数で寿命はきまる」

医学博士 石川善樹 著

出版社 マガジンハウス

2014/11/20

○大町町高齢者安心見守りネットワーク事業

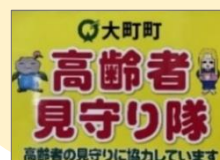
・地域の高齢者を見守ってもらい、異変がある時は報告してもらっています。高齢者見守り隊は現在49事業所！

○大町町「食」の自立支援事業

・お弁当の配達と安否確認をおこなっています。



意外と沢山の車に
貼られていますよ！



📞 令和7年度 介護予防・生活支援サポーター養成講座

受講者募集

中身が“ぎゅっと”
つまった4日間

期 間：12月2日（火）、9日（火）、16日（火）、23日（火）

の4日間（各13時～15時10分）※ 時間短縮で受講しやすくなりました。

開催場所：大町町総合福祉保健センター美郷

講 師：公益財団法人さわやか福祉財団

さわやかインストラクター 江口 陽介 氏、他

対 象 者：大町町内在住の方

自分自身の介護予防やボランティア活動に興味関心がある方

住民主体の通いの場の運営に携わっている方 など

定 員：20名（無 料）

申込期間：11月4日（火）～21日（金）まで



こんなにすごい住民同士の支え合い・コミュニケーション上手になる

安全運転講習・お口の健康で長生き・健康でいる為の身体づくり

認知症について学ぶ・介護保険制度を知る・効果的な介護予防

心肺蘇生とAED・先輩ボランティアの活動を知ろう・やってみようボランティア

※ カリキュラムの詳細は大町町のホームページをご覧ください。

あなたの参加、待ってます！！



問い合わせ・申し込みは

「大町町地域包括支援センター」まで

（先ずはお気軽にお問い合わせください）

〈編集後記〉

10月6日は、中秋の名月でした。天気が良く、外にイスを出して両親と孫、そしてススキとお団子を片手にお月見をしました。月と星のコラボの中、散歩をされている近所の方と一緒に楽しみました。小さい頃、月の中にウサギがいると話を聞きながら月見をしていた思い出があります。今は、両親が孫に、月のウサギの話をしましたが、孫は、話より食い気で、あんこの付いたお団子を口いっぱいにはお張っていました。忙しく生活する中でほっとできる時間が持てたら、人にも自然にも優しくなれる気がしました。（中島）

発行/大町町地域包括支援センター（福祉課内） 住所/大町町大字大町5000番地（美郷内）

電話/（0952）82-3187 FAX/（0952）82-3060

写真…向かって左より

輪ちゃん（生活支援コーディネーター） 桑原・溝口・中島

